

看護学部／ヘルスプロモーション看護学系	職名	助手	氏名	杉本 みぎわ
---------------------	----	----	----	--------

## 1. 教員紹介・主な研究分野

介護保険導入以前より在宅看護にかかわり、介護保険制度の変遷の中で訪問看護の果たす役割について実践の中で常に考えてきた。また、超高齢化を迎える時代の中で、高齢者や、がんのターミナル期の方々が、安心して在宅で最期まで暮らせるための在宅医療・介護の連携のあり方について、厚生労働省のモデル事業として開設した東京、新宿区にある「暮らしの保健室」での活動を通して研究してきた。地域包括ケアシステムにおける要ともなる訪問看護の展望について、「暮らしの保健室」を拠点とした研究を重ねるとともに、それぞれの地域に即した地域包括ケアシステムの実現に向けての研究と、生活の中にある医療という視点から看護師が果たすべき役割について研究を継続する。

## 2. 研究業績

### ①最近の著書・論文

〈寄稿〉

- ・ 杉本みぎわ, 空き家を「地域の資源」に変える “訪問看護と介護” 医学書院 2017年4月
- ・ 杉本みぎわ, 県の訪問看護ステーション連携事業を大学から支援する～福岡県の取組から訪問看護の醍醐味を考える “訪問看護と介護” 医学書院 2018年9月

### ②その他最近の業績

〈学会発表〉

- ・ 杉本みぎわ, 久保哲郎, 櫛直美, 林田優子, 和田和人, 山本節子. 医療・介護・福祉の他職種から捉える「介護連携」の在り方と課題(その3)～「認知症ケア」のグループワークより～. 第24回日ホスピス・在宅ケア研究会全国大会 in 久留米 2017年2月, 久留米〈シンポジウム〉
- ・ 村田節子, 宮園真美, 政時和美, 今丸満美, 吉田恭子, 櫛直美, 杉本みぎわ, 柴北早苗, 吉村美奈子: がん療養生活の選択に影響を与えるもの～地域で語り合うがんとの向き合い方(第2報)～, 第18回日本看護医療学会, 2016
- ・ 久内宏美, 長尾靖子, 杉本みぎわ, 吉村美奈子, : 難病(多系統委縮症)による長期在宅療養者への取り組み～他職種連携により“食べること”を取り戻した一事例～日本看護協会福岡県学会 2017年12月
- ・ 杉本みぎわ, 櫛直美, 山下清香, 猪狩崇, 中村美穂子, 平塚淳子, 山本博美, 尾形由起子. A 県の訪問看護ステーション交流会事業を通して見えた連携の在り方と今後の課題. 日本看護研究学会第23回九州・沖縄地方会学術集会(長崎) 2018年11月

〈シンポジウム〉

- ・ シンポジウム座長 第24回日本健康体力栄養学会大会. 2017年3月 東京
- ・ シンポジウムパネリスト 第32回日本臨床内科医学会. 2018年9月 横浜

## 5. 所属学会

看護医療学会・日本在宅医学会・日本ホスピス・在宅ケア研究会・日本臨床死生学会

## 6. 担当授業科目(補助)

〈学部〉

在宅看護学概論・1単位・2年・前期、在宅看護学演習Ⅰ・1単位・3年・前期、専門看護学ゼミ・2単位・3年・通年、在宅看護学演習Ⅱ(補助)・1単位・3年・後期～4年・前期、在宅看護学実習・2単位・3年・後期～4年・前期、専門看護学ゼミ・2単位・4年・通年、統合実習・2単位・4年・通年

## 7. 社会貢献活動

- ・在宅医療推進のための会（勇美記念財団） 委員,
- ・北九州在宅医療・介護塾 世話人,
- ・暮らしの保健室 in 若松 代表
- ・北九州緩和ケアネットワーク幹事
- ・北九州市社会福祉審議会委員

## 8. 学外講義・講演

- ・大妻女子大学スキルアップ研修 講師 2018年8月
- ・第32回日本臨床内科学会シンポジウム“医療と介護の縦割りを繋ぐには？” シンポジスト  
2018年9月 横浜
- ・福岡県介護支援専門員教会 筑豊支部 研修会 講師 2018年9月
- ・若松医師会地域ケア研究会 講師 2019年1月
- ・門司区介護サービス事業者連絡会研修会 講師 2019年1月
- ・田川医師会 平成30年度在宅施設看取り研修会 講師 2019年1月
- ・一般社団法人ソーシャルアップ ポジティブ介護 講師 2019年1月
- ・全日本民医連 九州・沖縄地方協議会 第9回介護事業所管理運営セミナー 講師 2019年2月

## 9. 附属研究所の活動等

ヘルスプロモーション実践研究センター兼任研究員